

北陸地方の 3か月予報 (6月～8月)



福井地方気象台 技術課 吉村 香

向こう3か月(6～8月)の気温・降水量

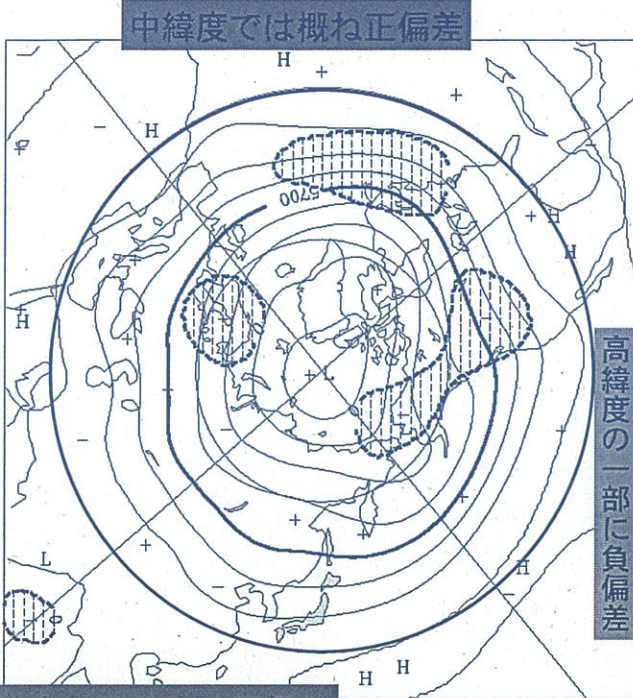
各階級の確率(%)

3か月気温	20	40	40
3か月降水量	30	40	30
	□低い(少ない) □平年並 □高い(多い)		

期間の後半、太平洋高気圧の北～西日本への張り出しが強いことの寄与が大きく、3か月平均で高温の傾向
降水量は、前半の多雨傾向と後半の少雨傾向とで3か月平均では平年並

6月～8月 3か月平均予想天気図

500hPa (上空5500m 付近)



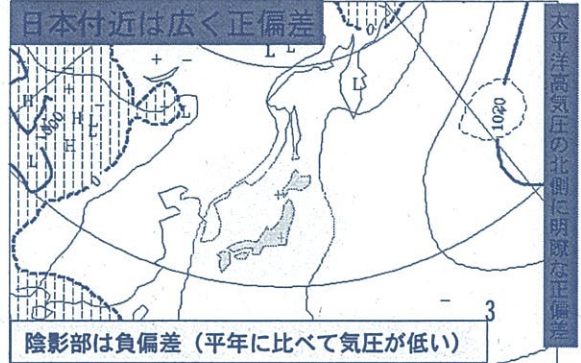
中緯度では概ね正偏差

高緯度の一部に負偏差

日本付近も広く正偏差

陰影部は負偏差 (平年に比べて高度が低い)

地上



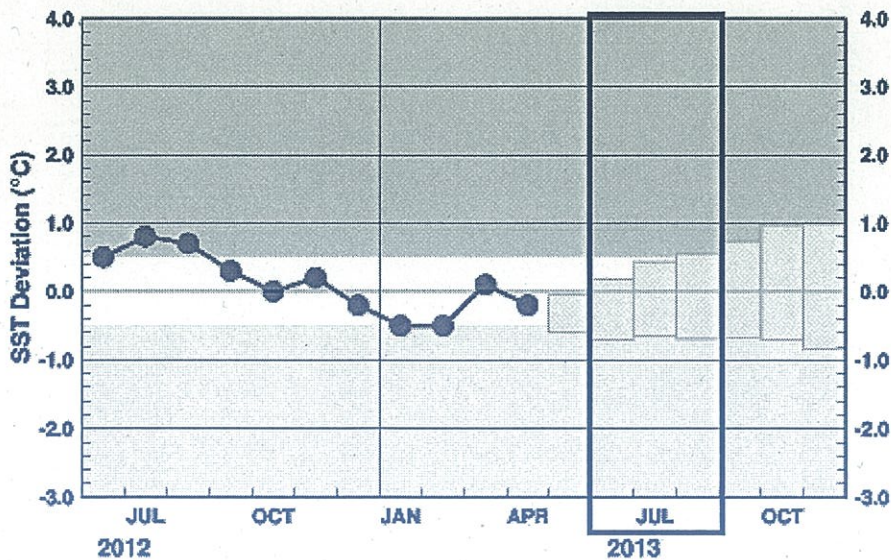
日本付近は広く正偏差

陰影部は負偏差 (平年に比べて気圧が低い)

太平洋高気圧の北側に明瞭な正偏差

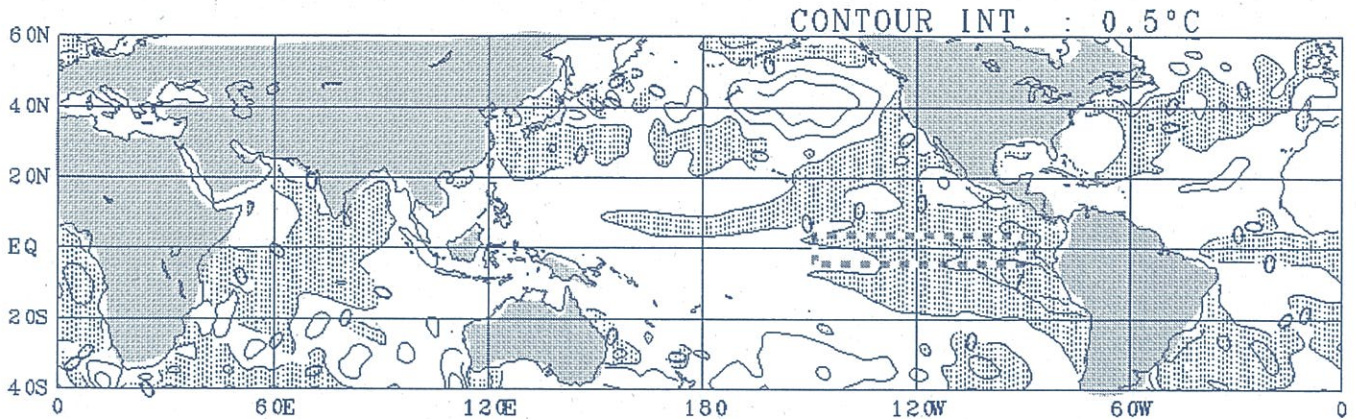
日本付近は正偏差で、日本の東海上では高気圧が平年より北寄り、強く、太平洋高気圧が平年より北で強い傾向。

エルニーニョ監視海域の海面水温予測



平常の状態が続いている。
今後秋にかけても平常の状態が続く可能性が高い。

熱帯域海面水温の予想 (6月~8月)



・太平洋熱帯域 : 初め西部で正偏差、中部~東部負偏差。
次第に正偏差域が拡大し、西部~中部は正偏差

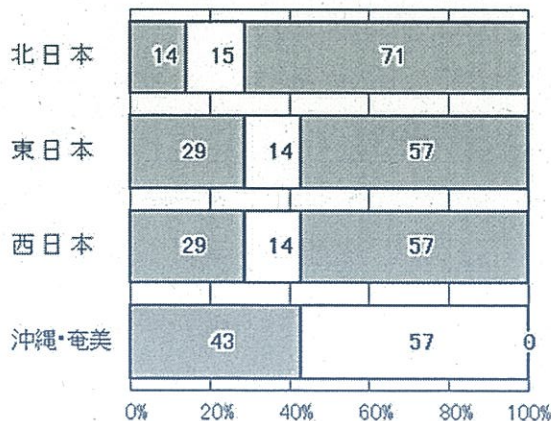
・インド洋熱帯域 : 概ね負偏差

⇒対流活動は、インド洋東部から太平洋赤道域西部にかけて
平年より活発

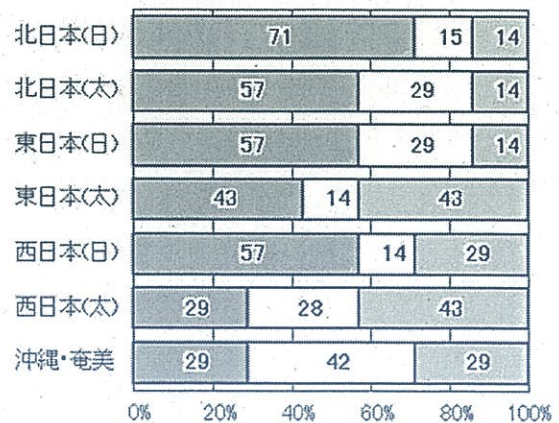
⇒太平洋高気圧は、期間の後半、北への張り出しが平年より強い傾向

インド洋熱帯域が低温時の夏(6~8月)の天候の特徴

平均気温<夏> ■低い □平年並 ■高い



降水量<夏> ■少ない □平年並 ■多い



←夏季にインド洋熱帯域で海面水温が高い場合

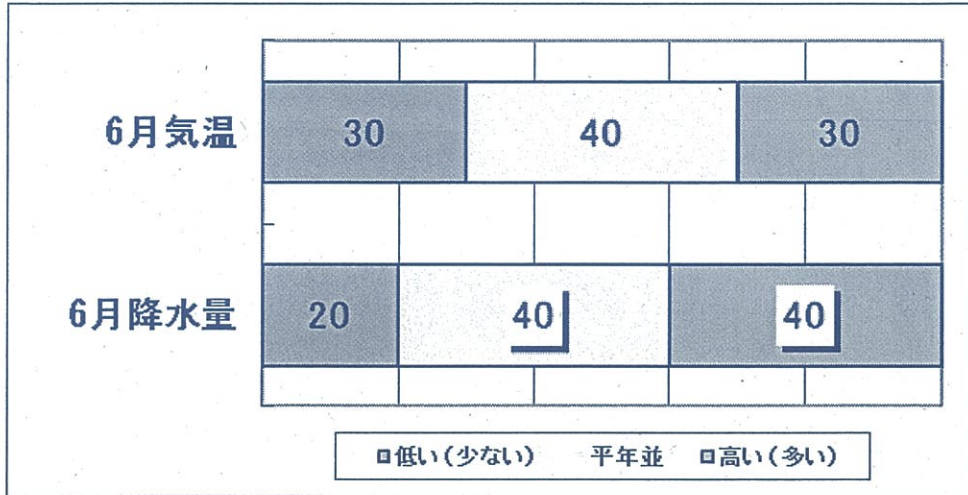
★低い場合は逆の傾向
(今年の夏の予想)

6月の天候と各階級の確率（％）

6月：平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう

（福井の平年の晴れ日数：11.8日 降水日数：10.7日

平均気温：21.6℃ 降水量：166.5ミリ）



6月 日照時間 平年並か少ない

6

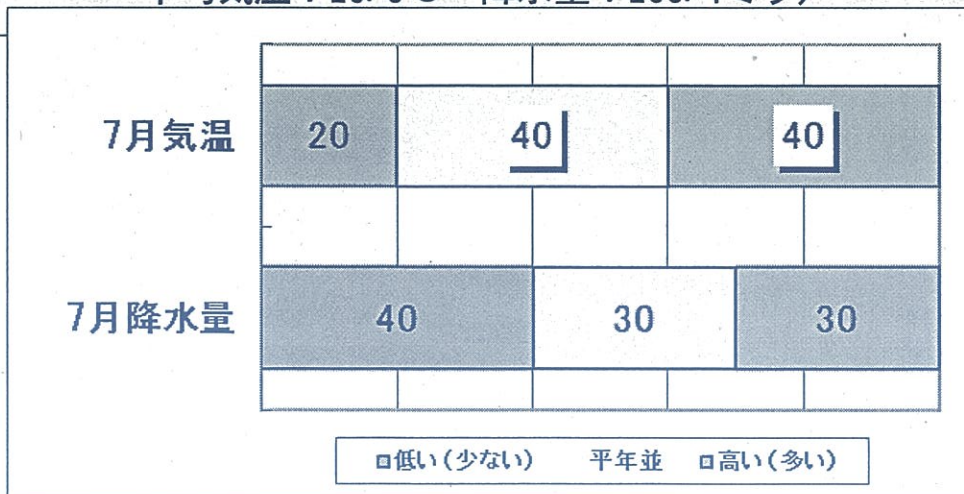
7月の天候と各階級の確率（％）

7月：平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう

気温は、平年並または高い確率40％

（福井の平年の晴れ日数：12.7日 降水日数：12.2日

平均気温：25.6℃ 降水量：233.4ミリ）



7月 日照時間 平年並

7

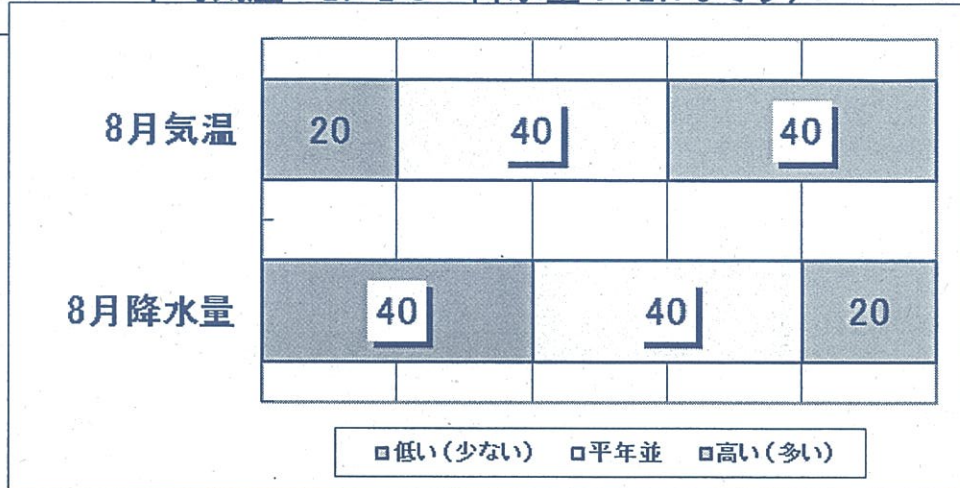
8月の天候と各階級の確率 (%)

8月：平年に比べ晴れの日が多いでしょう

降水量は、平年並または少ない確率40%

(福井の平年の晴れ日数：19.4日 降水日数：8.0日

平均気温：27.2℃ 降水量：127.6ミリ)



8月 日照時間 平年並か多い

8

北陸地方の過去5年の夏(6~8月)の天候経過

年	夏(6~8月)				6月	7月	8月	台風発生 個数 (本土接近数)
	気温 階級	平均気温 平年差℃	降水量 平年比%	日照時間 平年比%				
2008	平年並 の夏	+0.1 (0)	87 (0)	102 (0)	上下旬は低気圧や梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。	中旬にかけて曇りや雨の日が多かったが、梅雨前線は不活発であった。	晴れの日が多かったが、中旬以降は低気圧や前線の影響を受けた。	22 (3)
2009	冷夏	-0.5 (-)	113 (0)	78 (-)	梅雨前線の影響を受けにくく、晴れた日が多かった。	梅雨前線や寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。	太平洋高気圧が強まらず、気圧の谷の影響を受けやすかった。	22 (4)
2010	暑夏	+1.6 (+)	79 (-)	122 (+)	梅雨入りまでは高気圧に覆われて晴れた日が多かった。	梅雨明け後、太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日が続いた。	太平洋高気圧が強く、猛暑日が続いて記録的高温。	14 (3)
2011	暑夏	+1.1 (+)	101 (0)	102 (0)	梅雨入りが遅れたが、後半は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。	かなり早く梅雨明けし、太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多い。下旬に記録的大雨。	太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、下旬は寒気や前線の影響を受けた。	21 (5)
2012	暑夏	+1.0 (+)	79 (-)	128 (+)	梅雨入りは平年並だが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。	梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。	寒気の影響を一時受けたが、太平洋高気圧が強くと晴れた日が多かった。	25 (6)

◎夏(6~8月)の欄の書く平年差・平年比は北陸地方9地点(気象官署および特別地域気象観測所)を平均した値。(-)は低(少ない)、(0)は平年並、(+)は高(多い)

梅雨について

◎過去5年の状況

年	北陸地方				6~7月の降水量(ミリ)	
	入り(ごろ)	明け(ごろ)	北陸地方の6~7月の降水量 平年比(%)	梅雨期間 (日数)	福井	敦賀
平年	6月12日	7月24日		※	400.0	361.5
2008年	6月19日	8月6日	67%(少ない)	48	272.5	196.0
2009年	6月3日	—	117%(平年並)	なし	328.0	225.5)
2010年	6月13日	7月17日	92%(平年並)	34	347.5	477.0
2011年	6月18日	7月9日	96(平年並)	21	272.5	266.5
2012年	6月9日	7月26日	84(少ない)	47	408.0	373.5

1981~2010年の30年平均

- ・赤字: 平年よりはやく(太字: かなり早い)、青字: 平年より遅い(太字: かなり遅い)
- ・5日間程度の遷移期間があり、その中日を発表しているため、「ごろ」を付加
- ・梅雨入り・明けは遷移期間もあり年によって違うため、6月、7月の降水量の合計で比較
- ※梅雨期間の平年値はなし。ただし、梅雨入り平年値から梅雨明け平年値までは42日間。

◎梅雨のあれこれ

1951年~		第1位		第2位		第3位	
		早い方から	遅い方から	早い方から	遅い方から	早い方から	遅い方から
梅雨入り	早い方から	5月22日	1956年	5月28日	1953年	5月29日	1963年
	遅い方から	6月28日	1987年	6月28日	1958年	6月27日	2005年
梅雨明け	早い方から	7月2日	2001年	7月8日	1978年	7月9日	2011年
	遅い方から	8月14日	1991年	8月8日	1987年	8月6日	2008年
期間の長さ	短い方から	11日間	1958年	21日間	2011年	21日間	2005年
	長い方から	65日間	1991年	65日間	1956年	57日間	1963年
6~7月の降水量(ミリ)福井	多い方から	952.6ミリ	1953年	691.1ミリ	1965年	684.1ミリ	1964年
	少ない方から	162.0ミリ	1968年	173.0ミリ	1994年	173.0ミリ	1982年

10

その他の気象データ

◎夏日・真夏日・猛暑日・熱帯夜の日数と平年値

		日最高気温 25℃以上の日数(夏日)		日最高気温 30℃以上の日数(真夏日)		日最高気温 35℃以上の日数(猛暑日)		日最低気温 25℃以上の日数(熱帯夜*)	
		2012年	平年値	2012年	平年値	2012年	平年値	2012年	平年値
		福井県	福井	130	116.3	70	49.4	16	5.5
	敦賀	119	109.1	67	45.6	12	3.8	43	20.9

※熱帯夜: ここでは日最低気温が25℃以上のデータを用いた。一般にいう熱帯夜は夜間における最低気温が25℃以上を指しているため厳密には異なる。

◎台風の月別発生数・日本本土(北海道、本州、四国、九州)及び北陸地方への接近数

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
		台風発生数	2012年	0	0	1	0	1	4	4	5	3	5	1
	平年値	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6
本土への接近数	2012年	0	0	0	0	0	1	0	3	2	1	0	0	6
	平年値	--	--	--	0.0	0.1	0.4	1.0	1.7	1.7	0.7	0.0	--	5.5
北陸への接近数	2012年	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	2
	平年値						0.2	0.4	0.9	0.8	0.2	0.0		2.5

常に最新の予報をご利用下さい